

今後の展望

時間や場所を問わずに  
誰もが活躍できる業務環境の整備を

今後、同社では経費精算なども順次クラウドに変える予定だという。その目的は「誰もが働きやすい環境づくり」にある。

「当社の従業員は地方勤務だったり、お客さま先に常駐するケースが多い。そして株式会社PE-BANKには登録型派遣社員のエンジニアが100人前後いる。拠点にほとんど来られない彼らが快適に働ける仕組みをどう構築したらよいか。そう考えたときに、場所や時間を問わずに作業できるクラウドという仕組みが必要です。社内のさまざまな業務システムをクラウド化することによって、時間を有効に使ってほ

しいという想いがあります。従業員誰もが仕事もプライベートも充実させ、実力を発揮できる会社に変えていきたいですね」(高田氏)

奉行Edge 年末調整申告書クラウドは従業員の働きやすい環境を整えるための施策の一環であるわけだ。ベトナムにおけるオフショア開発のほか、新規事業の立ち上げに注力する同社。従業員力を十分に引き出すための業務環境の整備はこれからも続いていくだろう。

※掲載内容は取材当時のものです。担当者名、部署名、サービス内容等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。

奉行クラウド Edge<sup>®</sup>  
業務プロセスプラットフォーム

導入事例

お客様名 株式会社MCEAホールディングス 様  
導入製品 奉行Edge 年末調整申告書クラウド



年末調整申告業務に伴うプレッシャーから解放。  
「憂鬱に感じていた300名分の  
検算や入力作業がゼロに。  
今までの苦勞が嘘のようです」



奉行 年末調整申告書クラウド

企業プロフィール

エムセア  
株式会社MCEAホールディングス

所在地…東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前  
URL…<http://mcea-hld.jp>



ITフリーランスが実務に集中し、スキルに見合った報酬を得られるように営業代行・事務代行・スキルアップ支援・その他福利厚生支援など幅広いサポート事業を手がける株式会社PE-BANK、国内最大級の貸し会議室検索サイト「会議室.COM」や充実した会議にするためのノウハウを集めたオウンドメディア「会議HACK!」などのサービスサイトの企画運営のほか、システム開発やSES事業、ベトナムに支社を構えるオフショア開発などを手がけるアスノシステム株式会社、ビジネスコンサルティングを手がける株式会社流通戦略総合研究所の三社を傘下とする。インフラ構築、ウェブサービスの提供、エンジニア派遣まで、システム開発・運用に必要なサービスを一体的に提供している。

導入製品

- |              |              |                       |                   |
|--------------|--------------|-----------------------|-------------------|
| 給与奉行V ERP8   | 勤定奉行VERP8    | 管理会計オプション             | 奉行Edge マイナンバークラウド |
| 人事奉行V ERP    | 給与明細配信オプション  | OBC Management Studio |                   |
| 法定調書奉行V ERP8 | 債務管理Proオプション | 奉行Edge 年末調整申告書クラウド    |                   |

株式会社 オービックビジネスコンサルタント  
URL <https://www.obc.co.jp>

販売代理店

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| (東 京) 〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー | TEL.03(3342)1880(代) FAX.03(3342)1874 |
| (札 幌) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F  | TEL.011(221)8850(代) FAX.011(221)7310 |
| (仙 台) 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F  | TEL.022(215)7550(代) FAX.022(215)7558 |
| (関 東) 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮センタービル7F  | TEL.048(657)3426(代) FAX.048(645)2424 |
| (横 浜) 〒220-0011 横浜西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F    | TEL.045(227)6470(代) FAX.045(227)6440 |
| (静 岡) 〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル5F  | TEL.054(254)5966(代) FAX.054(254)5933 |
| (全 沢) 〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファール5F           | TEL.076(265)5411(代) FAX.076(265)7068 |
| (名古屋) 〒450-6325 名古屋市中村区名駅1-1-1 JPTタワー名古屋25F  | TEL.052(589)8930(代) FAX.052(589)8939 |
| (大 阪) 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F     | TEL.06(6367)1101(代) FAX.06(6367)1102 |
| (広 島) 〒730-0032 広島市中区立町2-27 NBF広島ビル4F        | TEL.082(544)2430(代) FAX.082(541)2431 |
| (福 岡) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F | TEL.092(263)6091(代) FAX.092(263)6099 |

※会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。※カタログに記載された内容および製品の仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。※本カタログの記載内容は取材当時のものです。

導入事例のみどころ

01 検討のきっかけ

拠点別、個人別の  
配付・回収、進捗管理  
に課題。マイナンバー  
制度の施行が本格  
検討の後押しに。

02 導入の決め手

人事および給与シ  
ステムとの連携による  
年末調整業務全体の  
改善。クラウドによる  
多様な働き方への対応。

03 従業員と担当者の  
業務時間削減

年末調整申告書の  
配付および回収、  
進捗管理から解放。  
丸2日かかっていた  
検算が不要に。

04 今後の展望

クラウド化をさらに  
推進。エンジニアが  
働きやすく、実力を  
発揮できる環境に。

## 01 拠点別・個人別の管理が負担に きっかけはマイナンバー制度の施行

### 検討の きっかけ

株式会社MCEAホールディングスは、ITフリーランスのブランド化プラットフォーム事業を手がける株式会社PE-BANK、SI事業など手がけるアスノシステム株式会社の総務経理、人事業務全般を担う。奉行Edge 年末調整申告書クラウド検討のきっかけは何か。背景には各グループ会社の業務特性があった。アスノシステム株式会社専務取締役の高田幹也氏が説明する。

「年末調整申告書の拠点別、個人別での管理が負担になっていました。両社合計で全国に15拠点あり、拠点長が年末調整申告書の配付・回収、進捗管理まで行っていました。従業員のお客さま先に常駐しているケースが多いため、抜け漏れが発生しがちでした。株式会社PE-BANKについては全国に点在する登録型派遣社員のエンジニアにおける年末調整申告書の配付・回収、進捗管理が課題となっていました」

さらにマイナンバー制度の施行が後押しになった。「従業員や登録型派遣社員全員のマイナンバーを書類で適切に管理できるのか、不安を感じていました」と語るのは総務部情報システム担当マネージャーの森岡太郎氏である。

「マイナンバーの取り扱いを間違えると重大な信用問題に発展してしまう。個人情報を厳格に管理するためには書類のやり取りをなくす必要がありました。マイナンバーにおいてシステムを導入することに伴い、年末調整申告書も同様の扱いにしたほうがいいのではないかと、そんな声が上がってきたのです」

同社では従業員からの問い合わせのほか、年末調整申告書を回収した後のチェック業務に多くの時間を要していたことも課題となっていた。同社総務部マネージャーの小野雅世氏が語る。

「従業員も多くは年末調整申告で何をやるべきか忘れていました。そのため、「どうしたらいいんだっけ?」という問い合わせが相次いでいました。こうした問い合わせを少なくするにはシステムで年末調整申告書の履歴を残すことが効果的だと思っていました。また、保険料控除申告書や住宅借入金等特別控除申告書では計算間違いが多数見られる状況。短期間で全員分の書類を人力で抜け漏れなくチェックするのは難しく、システムが必要だと感じていました」



アスノシステム株式会社  
専務取締役  
高田 幹也氏



総務部情報システム担当  
マネージャー  
森岡 太郎氏

## 02 配付・回収から年末調整の計算まで一連の業務をシステム化 場所や時間を問わずに作業可能なクラウドを評価

### 導入の 決め手

一連の年末調整申告書業務の効率化や個人情報の厳格な管理のためにシステム導入が検討されることになった。数多あるシステムのなかで、なぜ、奉行Edge 年末調整申告書クラウドを選んだのか。

「人事奉行や給与奉行と連携させ、一気通貫で業務ができるようにしたかったからです。連携によって、年末調整申告書の配付・回収だけでなく、給与奉行への入力から年末調整計算まで自動化できるため、総務部の業務負担が軽くなります」(森岡氏)

同社の業務特性に合っていたことも奉行Edge 年末調整申告書クラウドを選んだ理由のひとつである。

「拠点に年末調整申告書を送付しても、長期出張や客先常駐で拠点に不在の従業員がいるため、思うように届かないことも。エンジニアが中心なので働く時間が一律でなく、問い合わせ

対応に苦慮することもたびたびありました。奉行Edge 年末調整申告書クラウドは時間や場所を問わずに作業可能な環境を提供してくれるので、こうした問題を一扫できます。また、パソコンやプリンタなどの個別の利用環境に依存しない体制を整えたいという想いも導入の理由のひとつです」(森岡氏)

### 年末調整申告書クラウド導入後の業務の流れ

申告書の配付・回収	担当者がメールで提出依頼。従業員はパソコンやスマートフォンから申告書を提出。
進捗管理内容確認	提出状況は自動記録。Web上で申告内容を確認でき、控除額は自動計算で検算不要。
システムへのデータ入力	給与奉行へデータが自動連携され、すぐに年末調整の計算が可能に。

## 03 自動計算や自動入力で確認作業が0に 拠点長や従業員の負担軽減も実現

### 従業員と 担当者の 業務時間 削減

導入以後、どのような効果があったのか。年末調整申告書の配付および回収から見ていこう。同社経理部マネージャーの谷村あや氏が語る。

「従来は、各拠点長が年末調整申告書の配付・回収、進捗管理まで行っていました。システム導入により、これらの業務から解放されることに。拠点長の業務負担は格段に少なくなりました」

年末調整申告書の配付および回収を終えた後、担当者の頭を悩ませるのは従業員からの問い合わせである。

「導入後、問い合わせは年々減少しています。どうやら前年の履歴を確認できることが大きいようです。奉行Edge 年末調整申告書クラウドは、特段記入が面倒である保険料控除申告書や住宅借入金等特別控除申告書において前年の申告情報を自動複写する仕組み。前年の入力情報を見ると「こうやればいいんだな」と思い出すようで、気が楽になって進めやすくなるでしょう」(小野氏)

「進捗管理も格段に楽になった」と語るのは谷村氏だ。

「従来エクセルで行っていた進捗管理をシステムで行うと、提出状況が一目瞭然。おかげで未提出者のリストを簡単に作成できるようになりました。また、原本での保存が必要になる各証明



経理部マネージャー  
谷村あや氏

書の提出状況も容易に管理できます」

年末調整申告書が担当者の手元に届く。その後行うのはチェック業務である。小野氏は「検算や手入力が不要になった」とチェック業務における効果の大きさを強調する。「従来は全員分の年末調整申告書を検算し、間違いがあれば修正していました。全社で約300名分を短期間で処理しないといけないので本当に大変で。精神的なプレッシャーもありました。ところが、システム導入後は、各種控除額が自動計算されるため、検算が不要に。今は証明書の金額と合っているかどうかを確認するだけで済んでいます。これまで検算に丸2日要していたのが嘘のようです」(小野氏)

谷村氏はこう付け加える。

「年末調整申告書の情報を給与奉行へ手入力していたのですが、システム導入後、情報が自動入力されるため、これらの業務は一切不要になりました。2名体制で行っていた入力後のダブルチェックが不要になり、とても助かっています」



総務部マネージャー  
小野 雅世氏

## 導入効果

年末調整申告のWeb化により、総務部門と拠点長が拠点別、個人別に行っていた配付・回収、進捗管理の業務時間削減に成功。申告情報の自動複写機能で従業員の入力作業負担も軽減され、場所や時間を問わないクラウドですべての従業員が効率的に業務を行える環境に。

- 拠点別、個人別での**年末調整申告書の配付・回収作業が0**になった
- 長期出張や客先常駐で拠点にいない従業員にも**期日通りに年末調整申告書を配付**できるようになった
- クラウドで**従業員が時間や場所を問わずに申告業務を行える環境**ができた
- 申告情報の自動複写機能で、**従業員が問い合わせをしなくてもスムーズに申告業務を進められる**ようになった
- 保険料控除申告書や住宅借入金等特別控除申告書の控除額の自動計算で、**丸2日かかっていた検算作業が0**になった
- 給与奉行との連携で**データの入力作業と入力後の確認作業が0**になった
- 制度改正への自動プログラムアップデートで、**今後の制度改正にも安心して業務ができる環境**が整備された